伊奈町立小室小学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像　　**子供とじっくり向き合える学校**

放課後業務の削減による時間の創出

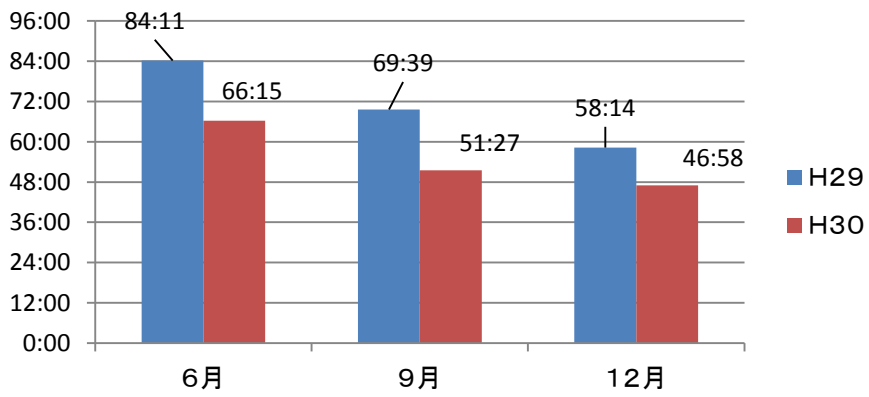
- **諸表簿の電子化**
- **留守番電話の導入**
- **学校行事・日課の見直し**
- **会議や打ち合わせの時間短縮**

スクール・サポート・スタッフの活用

働き方に対する教職員の意識改革

- **カエル会議の実施**
- **環境整備（職員室のレイアウト）**
- **集中タイムの導入**
- **退勤目標時刻の設定**

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
(学校は)子どもと向き合う時間の確保が十分されている	37.5%	70.8%
教材研究や授業準備に必要な時間が取れている	12.5%	44.0%
業務を見直し、改善が図られている	37.5%	91.7%
会議の効率化が図られている	25.0%	87.5%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

業務の見直し・削減と、スクール・サポート・スタッフの活用により、教職員の事務負担感の軽減が図られた。
カエル会議の実施により、教職員の業務の在り方に対する目的意識が高まり、ゆとりを持って子どもと向き合えるようになった。

伊奈町立小針小学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像　**笑顔があふれ、心いやされる学校**

業務改善による時間の確保

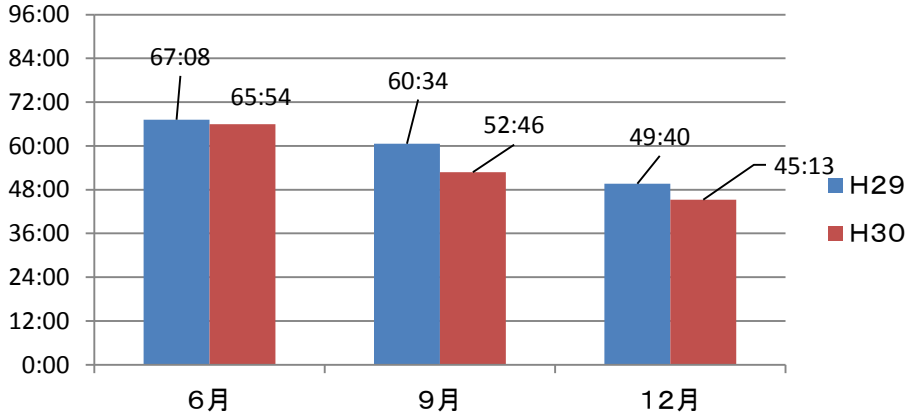
- **留守番電話の導入**
- **学期末の日課の見直し**
- **職員会議資料の電子化**
- **諸表簿の電子化**

スクール・サポート・スタッフの活用

働き方に対する意識改革

- **退勤時刻設定ボードの活用**
- **環境整備（職員室・印刷室等）**
- **カエル会議の実施**

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
仕事を計画的に行っている	53.9%	87.0%
読書・セミナー等、自己研鑽をしている	26.9%	43.5%
(学校は)子供と向き合う時間の確保が十分されている	57.7%	69.5%
教材研究や授業準備に必要な時間が取れている	19.2%	30.4%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

学期末の日課の見直しを行ったことにより、時間の確保がなされ、業務改善が図られた。
スクール・サポート・スタッフの活用により、教職員の事務負担の軽減が図られ、勤務時間外在校時間の減少へつながった。
カエル会議の実施により、教職員の業務の在り方に対する意識の高まりが見られた。

伊奈町立南小学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像　**持続可能な職業・職場にするために**
身近なところからできることを考え、実施する学校

日常業務の削減

- **職員配布資料の電子化**
- **留守番電話の導入**
- **行事予定欄の共有化**
- **会計業務の簡略化**

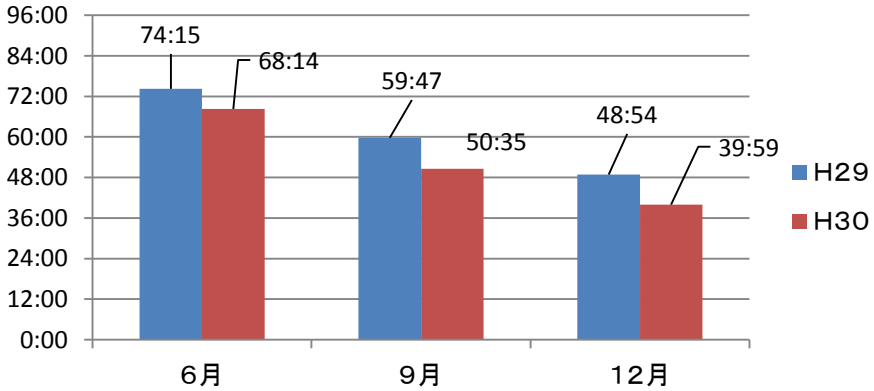
やるべき仕事の絞り込みと共有

働き方に対する教職員の意識改革

- **退勤予定時刻の見える化**
- **職集発言者リストの活用**
- **教材の共有化**
- **カエル会議の実施・情報共有**

カエルボード

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
業務の改善について工夫している	45.4%	63.7%
(学校は)子供と向き合う時間の確保が十分されている	50.0%	68.2%
読書、セミナー参加等、自己研鑽をしている	45.4%	56.5%
睡眠時間は十分だ	18.1%	34.7%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

カエル会議を実施・情報共有したことで、教職員の業務の在り方・進め方について深く考えるようになった。
教材・職員配布資料の電子化・共有化により、教職員の事務負担の軽減が図られ、子供と向き合う時間の確保につながった。

伊奈町立小針北小学校

H31．3月現在

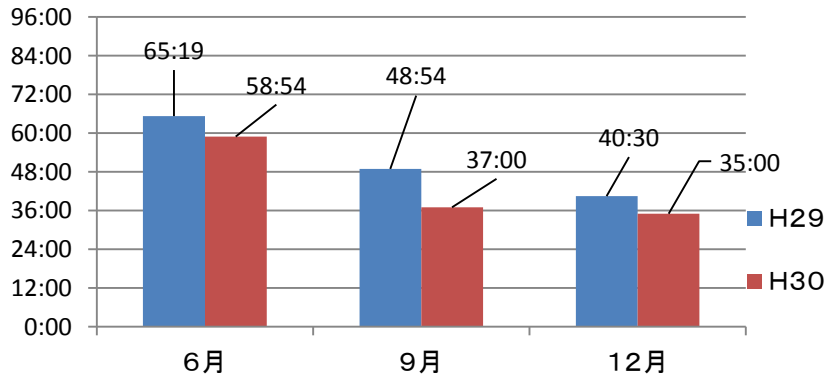
業務改善を通して目指す学校像　**子供たちと向き合える学校**

～教職員としての働きがいのある職場づくり～

業務の工夫・改善による時間の創出

- **諸表簿の電子化**
- **留守番電話の導入**
- **日直業務の分担**
- **保護者への複数配付資料の一本化**
- **工夫した日報の活用**

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



働き方に対する教職員の意識改革

- **カエル会議の実施**
- **退勤目標時刻の設定及び見える化**
- **会議の時間短縮及びペーパーレス化**
- **各種作業の分業化**

質　問　内　容	第１回	第３回
学校運営や業務の改善に向けて検討する場が設けられている	15.2%	82.6%
(学校は)子供と向き合う時間の確保が十分されている	30.5%	60.9%
読書、セミナー等、自己研鑽をしている	32.6%	53.4%
教員として自分の能力をさらに向上させようと思う。	89.1%	95.6%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

カエル会議の実施により、教職員がタイムマネジメントを意識して、効率的に仕事に取り組むことが増え、勤務時間外在校時間の平均の減少につながった。
チームワークよく効率的な働き方のアイディアを生かし、実践できたことで、子供たちと向き合う時間や自己研鑽をする時間が増えた。

伊奈町立伊奈中学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像　**教師が互いに磨き合い高め合う学校**

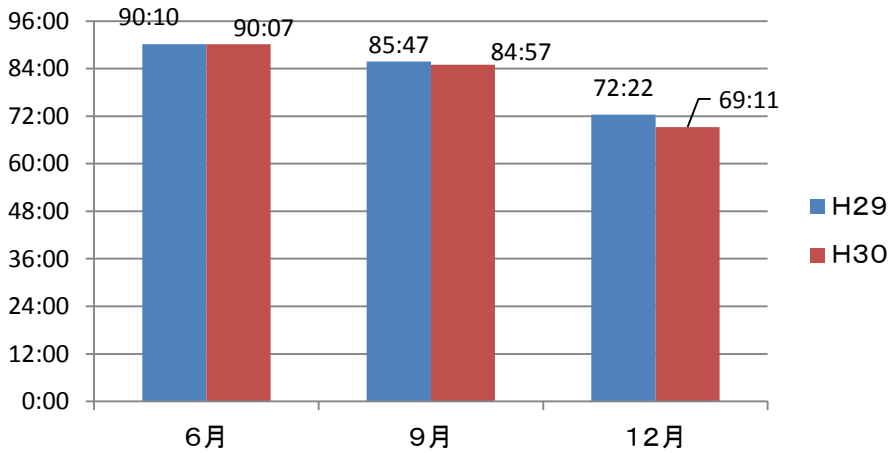
業務の効率化

- **会議の精選、ペーパーレス化**
- **学校行事の見直し、校務分掌の統廃合**
- **学校事務の精選や電子化**
- **職員室等の環境整備**

教職員の意識改革

- **退勤予定時刻の可視化**
- **事務処理の優先順位、進行管理の推進**
- **カエル会議・グループ協議の実施**
- **分業と協働の調和の促進**

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
（私は）子供と向き合う時間の確保が図れている	56.0%	81.8%
ワーク・ライフバランスの実現が図られている	24.0%	59.1%
業務の改善について工夫している	44.0%	86.3%
仕事を勤務時間内に終わらせようとしている	28.0%	59.1%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

教職員の意識改革が進み、業務改善に関する教職員アンケート結果の数値が向上した項目が増えた。
スクール・サポート・スタッフの活用により、職員の負担が軽減した。

伊奈町立小針中学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像
生徒と向き合える学校 ～生徒指導力の向上による生徒の自治力アップ～

業務改善の取組

- **共有ファイルの整理・活用**
- **打刻記録分析**
- **集中タイムの実施**

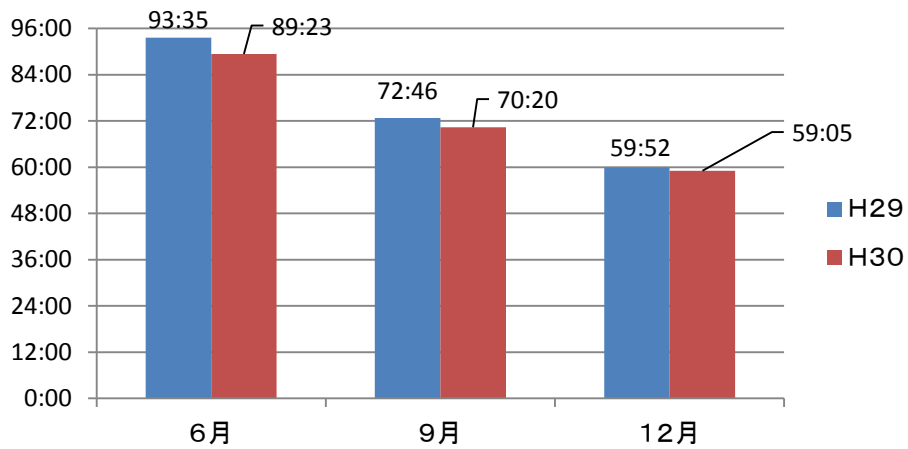
→カエルメンバー～全体へ

スクール・サポート・スタッフの活用

意識改革

- **打刻記録データを全教職員に周知**
- **学校評価アンケートの実施**
- **保護者の理解・協力**

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
会議の効率化が図られている。	59.0%	72.1%
業務を見直し、改善が図れている。	15.4%	62.8%
（学校は）子供と向き合う時間の確保が十分されている。	35.9%	78.0%
教材や資料などについて、同僚と共有化を図っている。	51.3%	69.1%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

学校の実態を踏まえ、校内でできるところから業務改善を当事者意識をもって取り組んできた。
スクール・サポート・スタッフ等の支援もあり、教職員一人一人の効率的な業務推進を図る機会が増え、子供と向き合う時間の確保がされてきた。

伊奈町立南中学校

H31．3月現在

業務改善を通して目指す学校像　　**笑顔で元気な学校**

働き方に対する教職員の意識改革

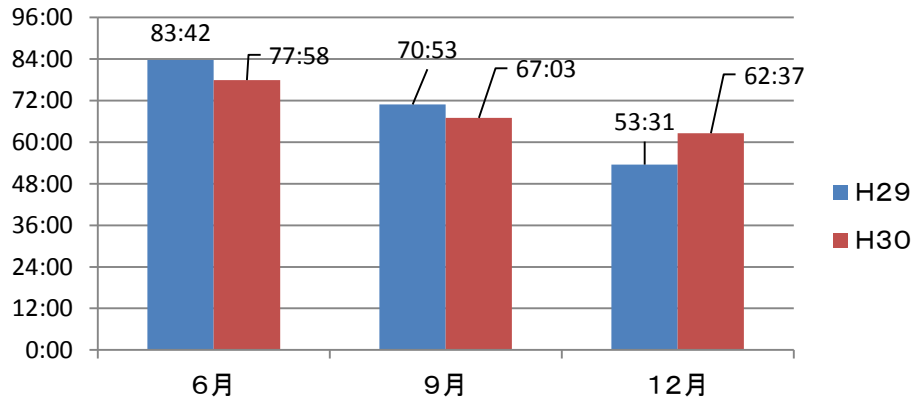
- カエル会議の実施
- 出退勤目標時刻の設定
- 勤務時間外在校時間個票の返却
- 校内業務改善研修会の実施
- ノー残業デーの設定（毎週水曜日）

教職員の共通理解 共通行動

業務改善の取組

- 生徒会専門委員会の統合
- 行事の精選・日課の変更
- 会議や打合せの効率化
- 留守番電話の設置
- 諸表簿の電子化
- 衛生推進者の活用　など

勤務時間外在校時間の平均（時間）※休日も含む



質　問　内　容	第１回	第３回
（学校は）子供と向き合う時間の確保が十分されている	35．9%	68．4%
ワーク・ライフバランスの実現が図られている	10．5%	52．7%
教材研究や授業準備に必要な時間をとれている	31．6%	57．9%
仕事を早く済ませ、早く帰ろうという雰囲気がある	30．8%	94．7%

教職員対象アンケート調査より（平成29年７月・平成30年７月実施）
※本アンケートは４件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

カエル会議や全体研修会等の実施により、教職員の働き方に対する意識の向上が図られ、勤務時間外在校時間の減少へつながった。
スクール・サポート・スタッフや教育支援員等の活用により、教職員の授業準備や事務の負担が軽減されゆとりをもって子供と向き合える時間が確保された。